



平成23年1月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成22年6月3日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 きんえい

コード番号 9636 URL <http://www.kin-ei.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 山内 秀茂

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 有田 朋義

TEL 06-6632-4553

四半期報告書提出予定日 平成22年6月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年1月期第1四半期の業績(平成22年2月1日～平成22年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年1月期第1四半期	844	△4.0	27	△33.3	29	△35.2	12	△52.9
22年1月期第1四半期	879	—	40	—	46	—	27	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年1月期第1四半期	0.46	—
22年1月期第1四半期	0.97	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年1月期第1四半期	6,103	1,843	30.2	65.98
22年1月期	6,168	1,886	30.6	67.53

(参考) 自己資本 23年1月期第1四半期 1,843百万円 22年1月期 1,886百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年1月期	—	—	—	2.00	2.00
23年1月期	—	—	—	—	—
23年1月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成23年1月期の業績予想(平成22年2月1日～平成23年1月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	1,820	0.5	45	1.4	50	△11.2	25	14.0	0.89
通期	3,670	3.3	130	24.9	140	16.3	75	15.0	2.68

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年1月期第1四半期	28,210,000株	22年1月期	28,210,000株
② 期末自己株式数	23年1月期第1四半期	276,822株	22年1月期	275,172株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	23年1月期第1四半期	27,933,178株	22年1月期第1四半期	27,943,555株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照ください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、海外経済の改善や政府の経済対策の効果により企業収益には持ち直しの動きが見られるものの、厳しい雇用・所得環境が続いていることもあり、個人消費については、依然、低調に推移しております。

この間当社におきましては、劇場部門と不動産賃貸部門との連携を活かした販売促進活動を積極的に展開する等、集客と収入の確保に努めるとともに、より安全なビル環境の整備やお客様の視点に立った品質の高いサービスの提供を継続して推進してまいりました。

劇場部門においては、「おとうと」「ドラえもん」「라이어ゲーム ザ・ファイナルステージ」「シャーロック・ホームズ」などの話題作品を上映して観客誘致に努めましたが、強力な集客力のある作品に恵まれず、また近隣のシネマコンプレックスとの競合の影響等もあり、この部門の収入合計は前年同期に比較して16.8%減の212,346千円となりました。

不動産賃貸部門においては、ルシアスビル事務所フロアへの大型テナント入居による空室率改善等により、駐車場収入等不動産付帯事業を含めた部門全体の収入は、前年同期に比較して2.0%増の495,216千円となりました。

娯楽場等その他の部門では、アポロビル4階ゲームセンターの減収傾向が続いており、この部門の収入合計は、前年同期に比較して1.4%減の137,372千円となりました。

以上の結果、売上高合計では前年同期に比し4.0%減の844,936千円となり、一方、費用の面においては、全社において諸経費全般に亘って削減に努めましたが、営業利益は27,153千円(前年同期比33.3%減)、経常利益は29,812千円(前年同期比35.2%減)となり、四半期純利益では12,732千円(前年同期比52.9%減)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、減価償却に伴う有形固定資産の減少等により前期末に比較して64,610千円減少し、6,103,960千円となりました。一方、負債は4,260,922千円で、テナント預り金の減少等から短期借入金の増加等を差し引き、前期末に比較して21,142千円減少しております。また純資産は、前期末に比較して43,468千円減の1,843,038千円となりましたが、これは配当金の支払い等により利益剰余金が減少したためであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益や減価償却費等を、テナント預り金の減少額や法人税等の支払額等が上回ったため、31,218千円の支出となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、短期貸付金の貸付等により127,972千円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加額から配当金の支払い等を差し引き、8,228千円の収入となっております。この結果、現金及び現金同等物の当第1四半期会計期間末残高は134,515千円となり、前期末に比較して150,962千円減少しております。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期会計期間の業績は概ね予想どおり推移しており、平成23年1月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成22年3月11日に「平成22年1月期決算短信(非連結)」にて公表した業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年4月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	134,515	285,477
売掛金	105,238	79,040
商品	4,376	3,770
その他	335,485	175,668
貸倒引当金	△320	—
流動資産合計	579,294	543,956
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,970,808	3,047,305
機械及び装置(純額)	49,296	51,136
工具、器具及び備品(純額)	33,893	37,587
土地	1,011,936	1,011,936
建設仮勘定	259,747	259,747
有形固定資産合計	4,325,681	4,407,713
無形固定資産		
投資その他の資産	22,604	27,107
差入保証金	1,148,040	1,161,640
その他	28,339	28,153
投資その他の資産合計	1,176,379	1,189,793
固定資産合計	5,524,665	5,624,614
資産合計	6,103,960	6,168,571
負債の部		
流動負債		
買掛金	104,582	93,059
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	150,920	460,920
未払法人税等	32,088	28,131
賞与引当金	22,900	10,700
その他	439,251	546,597
流動負債合計	849,742	1,139,409
固定負債		
長期借入金	1,319,720	1,045,180
退職給付引当金	76,287	74,833
受入保証金	1,835,262	1,836,021
その他	179,910	186,620
固定負債合計	3,411,180	3,142,655
負債合計	4,260,922	4,282,065

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年4月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,200	564,200
資本剰余金	24,155	24,155
利益剰余金	1,351,326	1,394,463
自己株式	△97,911	△97,470
株主資本合計	1,841,770	1,885,349
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,267	1,157
評価・換算差額等合計	1,267	1,157
純資産合計	1,843,038	1,886,506
負債純資産合計	6,103,960	6,168,571

(2) 【四半期損益計算書】

【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年2月1日 至平成21年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年4月30日)
売上高	879,953	844,936
営業原価	763,789	742,316
営業総利益	116,163	102,619
一般管理費	75,460	75,466
営業利益	40,702	27,153
営業外収益		
受取利息	490	420
受取配当金	3,255	—
営業休止補償金	8,863	8,863
雑収入	574	180
営業外収益合計	13,184	9,464
営業外費用		
支払利息	7,827	6,787
雑支出	54	18
営業外費用合計	7,881	6,805
経常利益	46,005	29,812
特別損失		
固定資産除却損	448	8,270
特別損失合計	448	8,270
税引前四半期純利益	45,557	21,542
法人税、住民税及び事業税	18,000	30,800
法人税等調整額	500	△21,990
法人税等合計	18,500	8,809
四半期純利益	27,057	12,732

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年2月1日 至平成21年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	45,557	21,542
減価償却費	91,491	90,253
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△13,286	1,453
受取利息及び受取配当金	△3,746	△420
支払利息	7,827	6,787
固定資産除却損	448	8,270
売上債権の増減額(△は増加)	△9,685	△26,197
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△1,126	△27,511
仕入債務の増減額(△は減少)	14,822	11,522
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△295,288	△96,725
その他	11,831	12,863
小計	△151,155	1,839
利息及び配当金の受取額	4,045	979
利息の支払額	△6,974	△6,244
法人税等の支払額	△45,597	△27,793
営業活動によるキャッシュ・フロー	△199,681	△31,218
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,969	△2,281
短期貸付金の増減額(△は増加)	△72,286	△131,103
差入保証金の回収による収入	97,100	13,600
差入保証金の差入による支出	△2,400	—
受入保証金の増減額(△は減少)	35,208	△759
その他	△719	△7,429
投資活動によるキャッシュ・フロー	48,933	△127,972
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	100,000
長期借入れによる収入	50,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△35,460	△335,460
配当金の支払額	△55,893	△55,869
その他	△1,229	△441
財務活動によるキャッシュ・フロー	57,416	8,228
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△93,330	△150,962
現金及び現金同等物の期首残高	311,249	285,477
現金及び現金同等物の四半期末残高	217,918	134,515

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。